



日の出町

発行：日の出町農業委員会

TEL：042-588-4102（直通）

第 32 号

令和 7 年 8 月発行

ひので大地



日の出町イメージキャラクター 「ひのでちゃん」

おもな記事

- * 日の出町の農業を取巻く現状について・・・P2
- * 令和 7 年度活動方針・・・P2
- * 令和 6 年度活動実績・・・P2
- * 研究集会・研究会に参加しました・・・P3
- * おめでとうございます（表彰）・・・P3
- * 農作物被害対策委員会に出席しました・・・P4
- * 農業者年金について・・・P4

日の出町の農業を取り巻く現状について

日の出町の総農地面積は、約157haであり、うち市街化区域内農地は30.2haです。昨年より、約2haの農地が減少しています。農地減少の主な原因は、市街化区域内農地が売却され、住宅用地等に転用されているためです。

農業産出額については、約2億5千8百万円で、年々算出額が下がっています。

農業の担い手となる認定農業者については、現在20名、認定新規就農者は、1名おり、日の出町農業の主力を担っています。

このような現状を踏まえ、農業委員会として、限られた農地を有効に活用できるように取り組んでいます。

総土地面積	28.07k m ²
総人口	16,300人
総農家数	202戸
農地面積	157.1ha
市街化区域面積	30.2ha
調整区域面積	126.9ha

令和5年度東京都の地域・区市町村農業データブック
(一般社団法人 東京都農業会議) による

令和7年度 活動方針

重点活動

① 遊休農地の解消と発生防止

遊休農地の解消と発生防止を目指し、日々の見回りを通して地域の耕作状況を把握し、遊休農地の情報を共有するとともに、その要因を確認し、利用促進に向けた活動に重点的に取り組む。

② 農地の利用最適化の推進

農地の利用最適化の推進への取り組みとして、農地利用状況調査等により把握した遊休農地等の活用を図るため、認定農業者等の担い手に対し、農地の利用権設定を進める。

③ 地産地消の推進

新鮮で安心安全な農畜産物を地域住民へ供給を促進するため、秋川農協と連携協力して「日の出町ふれあい農産物直売所」の運営管理を支援していく。また、学校給食の食材として地場野菜の供給についても関係機関と協調して推進していく。

令和6年度 活動実績

令和6年度は、活動方針に基づき、総会を12回開催しました。

平成28年度から実施している農地パトロールについては、遊休化のおそれがある農地が53筆ありました。農地貸し借りについては、農地の情報を収集し、認定農業者や新規就農者へ貸借を行い、累積で約8.4haの農地の集積を行いました。

食育体験の推進として、町内園児を対象とした大根の栽培体験を実施しました。

法令別項目	件数
農地法第3条(申請)	13件
農地法第4条(申請)	0件
農地法第4条(届出)	4件
農地法第5条(申請)	1件
農地法第5条(届出)	19件
農業経営基盤強化促進法(利用権設定)	5件
非農地証明	2件
非農地判断	0件

令和6年1月～12月までの集計による

令和7年度農業委員会活動予定

4月25日	第4回総会
5月26日	第5回総会
6月25日	第6回総会
7月上旬	農地パトロール
7月25日	第7回総会
8月22日	農業委員研修
8月25日	第8回総会
9月上旬	園児大根栽培体験事業(種まき)
9月25日	第9回総会
10月25日～26日	産業まつり(予定)
10月27日	第10回総会
	相続税納税猶予対象地パトロール
11月上旬	園児大根栽培体験事業(収穫)
11月25日	第11回総会
12月12日	農地流動化現地研究会
12月25日	第12回総会
1月26日	第1回総会
2月18日	第67回農業委員会・農業者大会
2月25日	第2回総会
3月25日	第3回総会

会長職務代理研究集会

令和6年9月26日に開催されました会長職務代理研究集会に参加しました。

当日は、清瀬市の生涯学習センターで清瀬市の農業の概要と農業委員会の活動を農業委員会事務局から説明を受けたあと、現地研究として共同直売所「みらい清瀬新鮮館」、コカブ・ハウレンソウをメインに栽培している農家の圃場、イチゴ農園をされている農家の圃場を見学し、研究集会は終了となりました。

農地流動化現地研究会

令和6年12月13日に開催されました農地流動化現地研究会に農業委員2名が参加しました。

当日は、瑞穂町でとうもろこしやネギなどを栽培している農家の圃場、立川市では市独自の農地バンクを活用し就農した農家の圃場、最後に小平市のハウスでシイタケやキクラゲの菌床栽培を行う農家の圃場を見学しました。

また、各見学先で、新規就農者の取組や課題などの話を聞きました。

第66回農業委員会・農業者大会が開催されました

令和7年2月20日に、第66回農業委員・農業者大会が昭島市で開催されました。

大会には、ご来賓として小池都知事、都議会議員、各区市町村の代表首長や農業関係団体が出席し、祝辞をいただきました。

大会では、東京農業の確立に関する要望、都市農業の振興と都市農地保全に関する要望、農業委員会活動の積極的推進に関する議決が全会一致で採択されました。



おめでとうございます

《企業の農業経営顕彰》

やまざきしげき

農業委員の山崎茂樹氏が全国農業会議所会長賞及び東京都農業会議会長賞を受賞し、第66回農業委員会・農業者大会において、表彰されました。

山崎氏は、先代のシイタケ原木栽培を引き継ぎ就農したが、原発事故を契機に菌床栽培に転換した。菌床栽培では培地の配合方法について熱心に研究し、現在は年間を通して様々なキノコ類を出荷している。ハウス増築による規模拡大をめざすなど、生産に意欲的である。

農業委員をはじめ各機関の役員を務め、地域農業の振興に尽力していることが認められ、受賞となりました。

《農業委員会等功労者表彰》

まつもとてつお

会長職務代理の松本哲男氏が第66回農業委員会・農業者大会において、表彰されました。

松本氏は、平成12年9月から農業委員、令和6年9月からは会長職務代理となり、農業委員を通算15年以上努めており、農業委員会の活動を通じて東京農業の発展に功労したことが認められ、表彰となりました。

右：山崎氏
左：松本氏



農作物被害対策委員会開催

町主催の農作物対策委員会が令和7年3月25日に開催されました。

同委員会には、農業委員会から2名が出席し、有害鳥獣捕獲実績や農作物被害集計、簡易電気柵等の貸付事業について協議が行われました。

簡易電気柵貸付事業について詳しくは、下記お問合せの産業観光課農林振興係まで

令和6年度捕獲実績

種 類	捕獲数
イノシシ	15頭
シカ	19頭
アライグマ	24頭
タヌキ	7頭
アナグマ	3頭
ハクビシン	8頭

熱中症に注意しましょう

- ①こまめに水分と塩分を補給しましょう
- ②家族に作業場所と帰宅時間を伝え、なるべく複数人で作業しましょう。
- ③通気性がよい服装や帽子等で、直射日光を避けましょう。



畑に設置された電気柵

ストップ農作物被害

鳥獣被害のポイント

野生鳥獣による農作物被害を減少させるためには、野生鳥獣を寄りつかせない環境づくりが基本となります。畑に、野菜くずや生ごみなどをそのまま放置すると、野生鳥獣のエサとなつてしまいます。また、被害対策をとっていない畑もエサ場になつてしまう危険性があります。草刈り等を行い、収穫残渣や生ごみなどを放置しないようにしましょう。

農業者年金について

農業者年金は、農業者を対象とした積立方式・確定拠出型の公的年金です。

保険料は自身の営農状況に合わせて月額2万円から6万7千円の間で千円単位で保険料を設定でき、経営状況に合わせて掛金はいつでも変更が可能です。そのほか終身受給や死亡一時金など、様々なメリットがあります。

加入要件

- ・20歳以上60歳未満の方
- ・国民年金第1号被保険者
- ・年間60日以上農業に従事

メリット

- ・全額社会保険料控除の対象
- ・保険料は月額2万円から6万7千円の間で自由に選べる
- ・終身受給できる
- ・80歳前に亡くなった場合は、死亡一時金が支給される

※加入方法等の詳細につきましては、農業委員会事務局までお問合せください。

編集後記

昨年9月に改選が行われ、第25期農業委員会メンバーでの活動も約1年となり、あつという間の1年でありました。

近頃、イノシシやシカなどによる作物の被害が拡大している傾向にあり、住宅近くでのイノシシの目撃報告もあるため、人的被害がないことを願うばかりです。

今後も「ひので大地」にて、農業に関する情報を提供してまいりますので、ご愛読お願いいたします。

編集委員

馬場 敏明
関根 進
和田 勝

お問合せ

日の出町農業委員会事務局
(産業観光課農林振興係内)

Tel 042(588) 4102

農地転用などの申請の締切は、毎月10日(土日祝日の場合には、その前日まで)となります。